

薬効・薬害・安全性に関する試験結果の概要

木酢液等の薬効・薬害試験の結果の概要

サンプルの種類	イネ籾発芽影響試験 (24時間種子処理)	イネいもち病胞子形成阻 害効果試験(種子処理)	イネいもち病効果試験 (種子処理及びかん注)	備 考
クヌギ木酢液(排煙口 温度指定)	15年度実施。50倍希釈液 で発芽への悪影響なし。	15年度実施。10倍、50倍希 釈液ともに効果あり。	16年度実施。効果あり。	ベンツピレンをごく微量(0.2ppb)含むもの。ホルムアルデヒドの濃度は 68ppm。酸度3.8%。
スギ木酢液(排煙口 温度指定)	15年度実施。50倍希釈液 で発芽への悪影響なし。	15年度実施。10倍、50倍希 釈液ともに効果あり。	16年度実施。効果あり。	9サンプルの木酢液等の成分を分析した結果、最もホルムアルデヒド の濃度の高かった(900ppm)もの。薬効試験直前のホルムアル デヒド濃度の測定は行っていない。酸度2.4%。
竹酢液(排煙口温度 指定)	15年度実施。50倍希釈液 で発芽への悪影響なし。	15年度実施。10倍、50倍希 釈液ともに効果あり。	16年度実施。効果あり。	原材料による違いが出るかどうかを調べるために竹酢液もサ ンプルとした。ホルムアルデヒドの濃度は68ppm。酸度4.6%。

木酢液等の安全性試験の結果の概要

サンプルの種類	急性経口毒性試験	変異原性試験 (Ames試験)	90日反復経口投与 毒性試験	水産動植物に対する 安全性試験	備 考
クヌギ木酢液(排煙口 温度指定)	15年度実施。実験動物に 異常なし。LD50値： 2000mg/kg以上	15年度実施し陰性。	16年度に実施し、無毒性量 は雄・雌ともに 1,000mg/kg/day	16年度に実施し、魚類 の48時間半数致死濃 度、ミジンコの3時間半 数致死濃度はともに 1,000ppm以上。	ベンツレインをごく微量(0.2ppb)含むもの。 ホルムアルデヒドの濃度は68ppm。薬効試験 に用いたものと同じ。
スギ木酢液(排煙口 温度指定)	15年度実施。実験動物に 異常なし。LD50値： 2000mg/kg以上	15年度は農薬登録ガイドラ インに基づく方法で実施した 結果陰性。16年度は最高用 量を原液として実施した結果 陽性。	16年度に実施し、無毒性量 は雄が300mg/kg/day、雌が 1,000mg/kg/day	16年度に実施し、魚類 の48時間半数致死濃 度、ミジンコの3時間半 数致死濃度はともに 1,000ppm以上。	9サンプルの木酢液等の成分を分析した 結果、最もホルムアルデヒドの濃度の高 かった(900ppm)もの。安全性試験直前 にホルムアルデヒド濃度を測定した結 果、1,300ppmであった。薬効試験に用 いたものと同じ。酸度2.4%。
ハイタガ・スキ・ヒノキ木酢 液(排煙口温度指定)	-	16年度に最高用量を原液と して実施した結果、農薬登録 ガイドラインに基づく方法で の濃度でも陽性。	-	-	30サンプルの様々な木酢液等の成分を 分析した結果、最もホルムアルデヒドの濃 度の高かった(3,000ppm)もの。
竹酢液(排煙口温度 指定)	-	-	-	16年度に実施し、魚類 の48時間半数致死濃 度は940ppm以上、ミジ ンコの3時間半数致死 濃度は1,000ppm以 上。	ホルムアルデヒドの濃度は68ppm。薬 効試験に用いたものと同じ。